

## 平成23年度事業計画書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

### I. 事業計画概要

公益財団法人として3年目となる本年度は、次期5カ年計画の初年度として公益事業の一層の充実、及び情報発信力の強化を重点に活動し、スポーツの普及・振興、及びスポーツ文化の振興・発展に寄与します。加えて、東日本大震災に伴う復興支援として被災地への支援を早期に実施します。

### II. 個別の事業計画

#### 1、スポーツチャレンジ研究・スポーツチャレンジ体験 助成事業

スポーツにかかわる学問研究活動に対し助成する「スポーツチャレンジ研究助成」、及び技能・体力の向上、体験等を目的とした取り組みに対し助成する「スポーツチャレンジ体験助成」を実施します。

本年度は第5期生として、研究、体験とも10から15件程度の個人・団体に助成します。また、第6期生助成対象者の募集を9月1日から11月中旬まで行い、翌年1月に最終選考し、対象者への助成金の贈呈式を、3月のスポーツ・チャレンジ・ウィークにて行います。助成対象者に対しては、四半期毎の報告書の提出と、期中における中間報告会への参加、及び1年間のチャレンジ成果を発表する成果発表会への参加を義務付けます。なお、中間報告会は8月（体験助成者）と10月（研究助成者）に開催し、成果発表会及び修了式は、翌年3月のスポーツ・チャレンジ・ウィークにて行います。

#### 2、海外留学生奨学金・外国人留学生奨学金 給与事業

スポーツにかかわる学問研究を目的とした留学生に奨学金を給与する「海外留学生奨学金」及び「外国人留学生奨学金」を実施します。

本年度は第4期生外国人留学生2名、及び第5期生として海外留学生、外国人留学生とも若干名に奨学金を給与します。また、第6期生奨学生の募集を9月1日から11月中旬まで行い、翌年1月に最終選考し、対象者への奨学金の贈呈式を、3月のスポーツ・チャレンジ・ウィークにて行います。

奨学生に対しては、四半期毎の報告書の提出、及び1年間のチャレンジ成果を発表する成果発表会への参加を義務付けます。なお、成果発表会及び修了式は、翌年3月のスポーツ・チャレンジ・ウィークにて行います。

#### 3、スポーツチャレンジ賞 表彰

スポーツの普及・振興に功績があり、その功績により社会の活性化に貢献した個人・団体に「功労賞」を、スポーツに関連する高い成果を発揮し、更なる成長が期待される個人・団体に「奨励賞」を授与し、表彰を行います。

表彰対象者は、大学・競技団体・メディア等からの推薦を受け、当財団に設置された有識者、専門家による選考委員会において選考を行い、翌年3月のスポーツ・チャレンジ・ウィークにて表彰・授与式を行います。本年度の「功労賞」、「奨励賞」は、各1名に授与します。

#### 4、YMF Sジュニアヨットスクール葉山の運営

小・中学生及び高校生を対象としたヨットスクールを（4月から翌年3月まで）開催します。

- (1) 従来のセーリング指導カリキュラムに「自然・水辺体験学習」のプログラムを加えることにより、海・水辺・海事に関する知識向上と安全啓発を図ります。
- (2) スクール生の体力測定・技能検定を、年度内に2回行い、最終の測定結果を、翌年度の「個別能力向上指導プログラム」に反映します。また、スクール生の目標設定と成果確認については、コーチはもとより父兄の助言を反映させます。
- (3) より質の高いスクール運営を図り、併せて父兄の理解促進を図るため、来年3月に実施するヨットスクール葉山の修了式において、スクール生の保護者に対するスクールの主旨説明、及びアンケート調査を実施します。
- (4) 来年3月に開催する「第20回セーリング・チャレンジカップ・イン浜名湖」にスクール生を参加させ、スクール受講による技能向上の成果確認と次期目標設定を行わせます。

#### 5、水辺の風景画コンテスト

小学生以下の幼児・児童を対象に、子供たちが海や川の絵を描くことによって、水辺への興味・関心を深め、感性と可能性を育むことを目的とする水辺をテーマとした絵画コンテストを開催します。

7月から9月まで作品募集を行い、10月下旬に有識者・関連団体代表者等による審査により文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞をはじめとする入賞作品を決定し、11月に表彰を行います。

また、東日本大震災の被災地支援として、子供たち向けの画材を提供します。

#### 6、指導者育成・指導レベル向上

ヨットスクール葉山の指導内容の更なる充実を図るため、セーリングスポーツ指導者のレベル向上を目的とし、日本体育協会指導員ほか指導資格取得のための支援を行います。

#### 7、スポーツ教材提供

スポーツの普及・振興・機会拡大・裾野拡大の一助とすべく、小・中・高校、ジュニアスポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブ等に対し、スポーツ教材提供を実施します。

提供先は、ホームページにて公募し、抽選により決定します。募集期間は4月から5月とし、6月上旬に提供先を厳正なる抽選にて決定します。また、ホームページにおいて提供先団体より提出された活用事例報告を掲載し、提供教材の有効利用の一例として広く紹介します。

加えて、東日本大震災の被災地支援として、子供たち向けにサッカーボールや縄跳び用の長縄などを提供します。

#### 8、YMF Sスポーツ討論会 開催

スポーツに関わる人たちのレベル向上や意識向上、及び社会へのスポーツの有用性訴求を目的とし、参加者一人ひとりがスポーツについて深く学び、考え、語り合う「YMF Sスポーツ討論会」を年2回程度開催します。

また、スポーツに関わる人たちの取り組みの参考に資するため、及び社会のスポーツへの理解促進を図るため、討論された意見をホームページ等に掲載し、情報発信を行います。

## 9、セーリング・チャレンジカップ・イン浜名湖 開催

全国で活動するセーリングのジュニアクラブを対象に、1年間のトレーニング成果と次年度の目標設定を確認するため、「第20回セーリング・チャレンジカップ・イン浜名湖」を、来年3月に開催します。

## 10、財団ホームページの充実と刊行物「Do the Challenge」の発行

当財団の活動をより広く一般に公開し、スポーツ振興・スポーツ文化向上による社会活性を図るために、ホームページ等の告知方法・内容の充実を図ります。

具体的には、「目標にチャレンジする尊さ」をテーマとするスポーツチャレンジ助成対象者のクローズアップレポートやスポーツチャレンジ賞受賞者の紹介、ジュニアヨットスクール葉山での子供たちの体験紹介、「YMFSスポーツ討論会」における意見の紹介、各種募集情報など、ホームページ内容の充実を図ります。

また、年に4回程度「Do the Challenge」（刊行物 A4・8頁）を定期発行し、スポーツ関連団体等に配布し、財団活動への理解促進を図ります。